

# D | AM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ ＜ブラジルリアルコース＞

追加型投信／海外／債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債に実質的な投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年10月6日～2022年4月5日

第142期	決算日：2021年11月5日	
第143期	決算日：2021年12月6日	
第144期	決算日：2022年1月5日	
第145期	決算日：2022年2月7日	
第146期	決算日：2022年3月7日	
第147期	決算日：2022年4月5日	
第147期末 (2022年4月5日)	基準価額	1,202円
	純資産総額	3,798百万円
第142期～ 第147期	騰落率	16.8%
	分配金合計	42円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

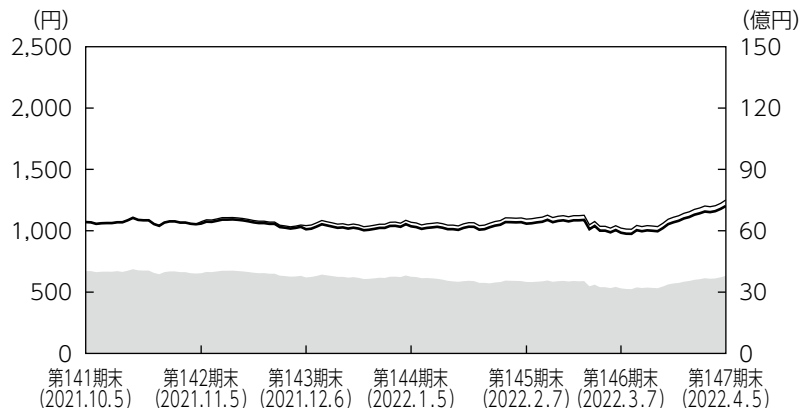
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第142期首： 1,071円  
 第147期末： 1,202円  
 (既払分配金42円)  
 騰落率： 16.8%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

新興国債券市場が下落したものの、為替市場においてブラジルリアル/円相場が円安ブラジルリアル高となったプラス要因が上回り、基準価額は上昇しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ケイマン エマージングソブリンファンドクラス (BRL)	17.8%
D I AMマネーマザーファンド	△0.1%

(注) ケイマン エマージングソブリンファンドクラス (BRL) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第142期～第147期		項目の概要
	(2021年10月6日 ～2022年4月5日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	6円	0.566%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は1,053円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(2)	(0.228)	
(販売会社)	(3)	(0.326)	
(受託会社)	(0)	(0.012)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	6	0.566	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

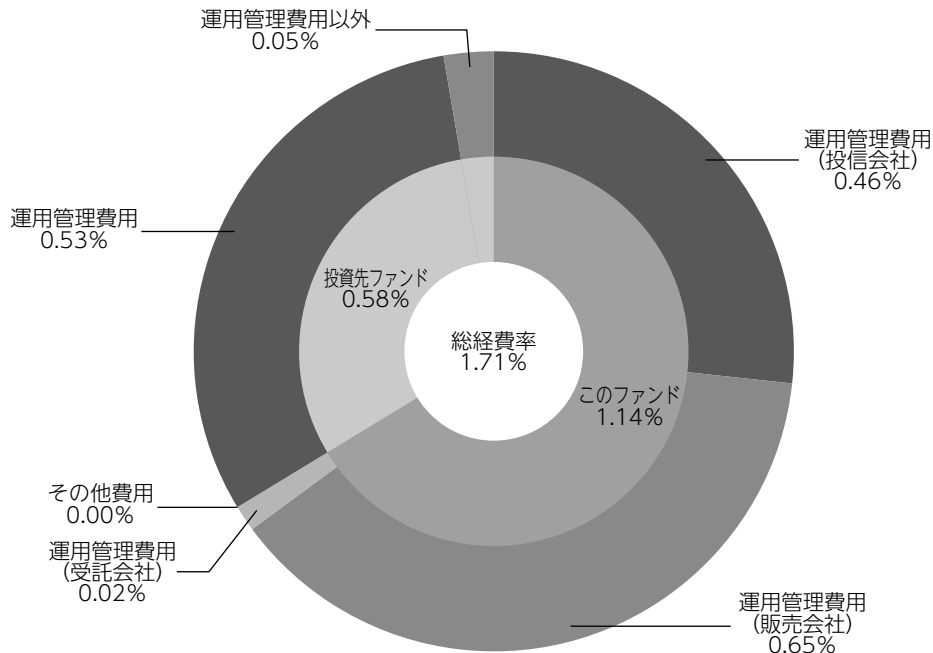
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

## ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



総経費率 (①+②+③)	1.71%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

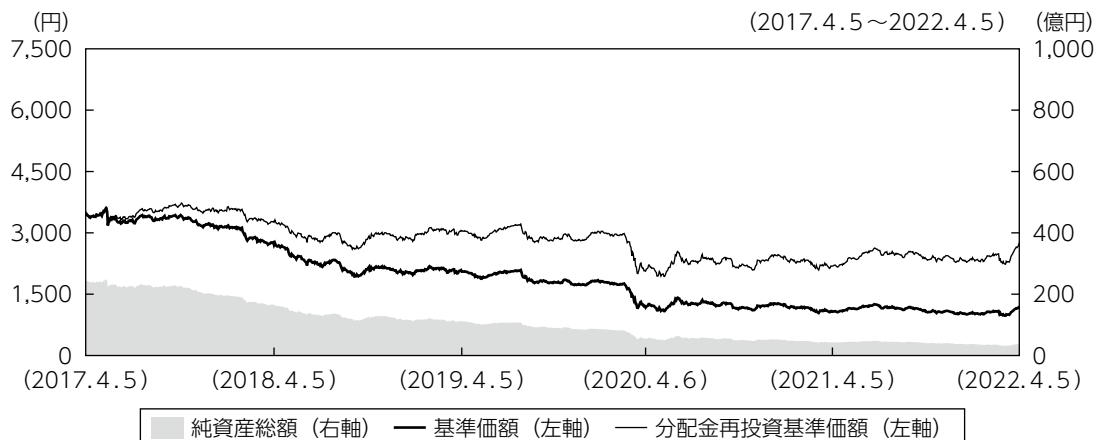
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年4月5日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2017年4月5日 期首	2018年4月5日 決算日	2019年4月5日 決算日	2020年4月6日 決算日	2021年4月5日 決算日	2022年4月5日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	3,416	2,702	2,052	1,174	1,072	1,202
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	600	450	300	180	132
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△4.6	△6.7	△32.2	6.1	26.2
純資産総額	(百万円)	24,119	16,276	11,108	5,388	4,269	3,798

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

## 投資環境

当作成期の新興国債券市場は下落しました。作成期前半から半ばにかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が広がったことや、米金融政策の正常化ペースが速まるとの見方が強まったことなどから、新興国債券市場は上値の重い展開となりました。作成期の後半は、ロシアがウクライナに侵攻したことを受けてリスク回避姿勢が強まる中、新興国債券市場は下落しましたが、停戦協議への期待が高まると、下落幅を縮小しました。

ブラジルリアル/円相場は、円安ブラジルリアル高となりました。ブラジル中央銀行がインフレ抑制のために政策金利の引き上げを継続したことや、資源価格が上昇したことなどから、ブラジルリアルは対円で上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (B R L) の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (B R L)

海外債券への投資については、新興国の国債を中心にポートフォリオを構成しました。地域別では、アフリカ、アジアの比率を高め、欧州、中南米の比率を低めにしました。国別では、中国、ハンガリーを組入れから外し、ロシア、ウクライナのウェイトを引き下げた一方、カタールを新たに組入れ、メキシコ、インドネシアなどのウェイトを引き上げました。2022年3月にベンチマーク構成国の変更があり、国別配分を調整しました。

また、米ドルを売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行いました。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
	2021年10月6日 ~2021年11月5日	2021年11月6日 ~2021年12月6日	2021年12月7日 ~2022年1月5日	2022年1月6日 ~2022年2月7日	2022年2月8日 ~2022年3月7日	2022年3月8日 ~2022年4月5日
当期分配金（税引前）	15円	15円	3円	3円	3円	3円
対基準価額比率	1.40%	1.46%	0.29%	0.28%	0.30%	0.25%
当期の収益	15円	15円	3円	3円	3円	3円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,149円	2,154円	2,156円	2,158円	2,159円	2,161円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（B R L）を高位に組入れることを基本とした運用を行い、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。また、D I A M マネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（B R L）

ロシアのウクライナ侵攻後、投資環境は大きな不確実性に直面しています。エネルギーと商品価格の高止まりの可能性とインフレ率上昇への懸念に課題があるものの、新興国市場は長期的には先進国市場と比較して優位な資産となると考えています。投資戦略はフィリピンをアンダーウェイト、インドネシア、メキシコをオーバーウェイトとしつつ分散投資のメリットに重点をおき、地域配分ではアフリカ、アジア（除く中東）をオーバーウェイト、欧州をアンダーウェイトとします。ロシア国債に関しては、ウクライナへの侵攻とそれに伴う欧米諸国からの経済制裁強化など、不透明感が強まっていることや、2022年3月末に新興国の米ドル建て国債の代表的指数である「J P モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス」から除外されることが決定したため、ポジションは解消する方針です。経済制裁により流動性が低下し、取引制限を受ける場合もあるため、投資方針どおりの運用が実施できない場合もあります。引き続き、資本規制の動向や、バリュエーション、市場での流動性等を総合的に判断し、適切な対応に努めます。加えて、米ドルを売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。

### ●D I A M マネーマザーファンド

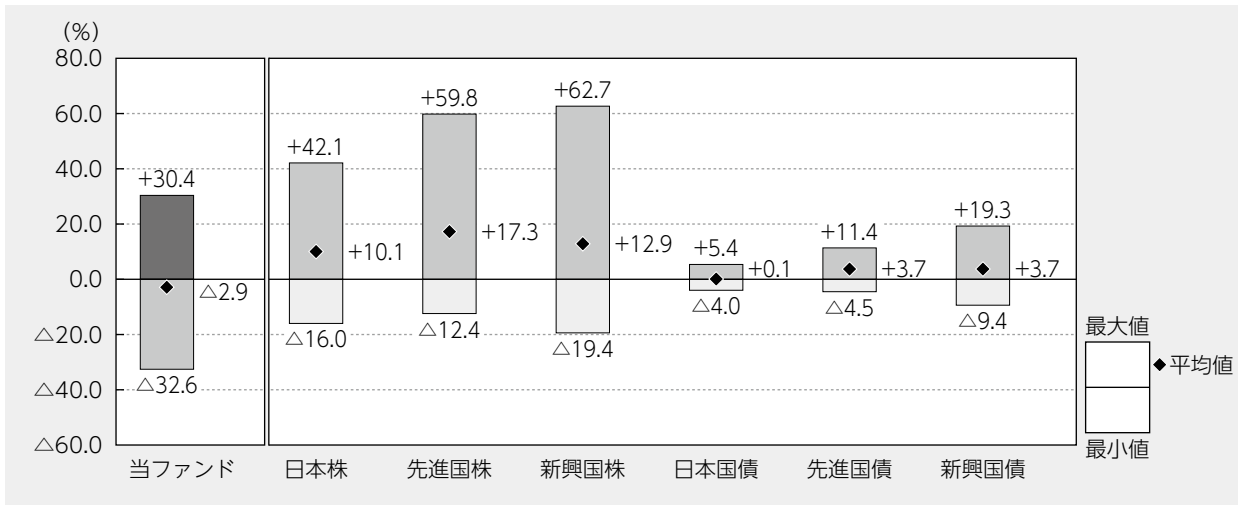
日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2009年10月29日から2024年10月29日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（BRL）」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債（国債および政府機関債等 <sup>(*)</sup> ）に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案し決定します。 <sup>(*)</sup> 各国政府および政府関係機関が発行する債券であるソブリン債、または政府が出資している企業や政府保証が付いた債券である準ソブリン債を含みます。 外国投資信託においては、米ドルを売り予約し、ブラジルレアルを買い予約する為替取引を行います。
分配方針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準を勘案し、安定分配に加えて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざす」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年4月～2022年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2022年4月5日現在)

#### ◆組入ファンド等

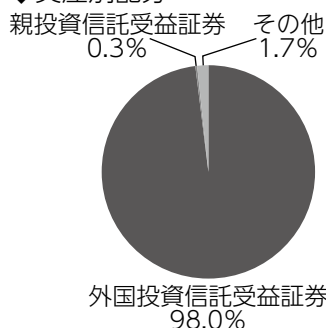
(組入ファンド数：2ファンド)

	第147期末
	2022年4月5日
ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (BRL)	98.0%
DIAMマネーマザーファンド	0.3
その他	1.7

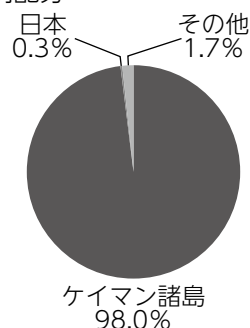
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

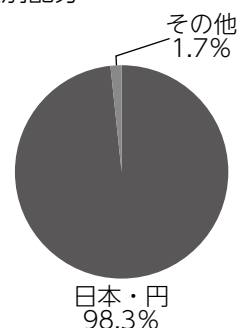
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

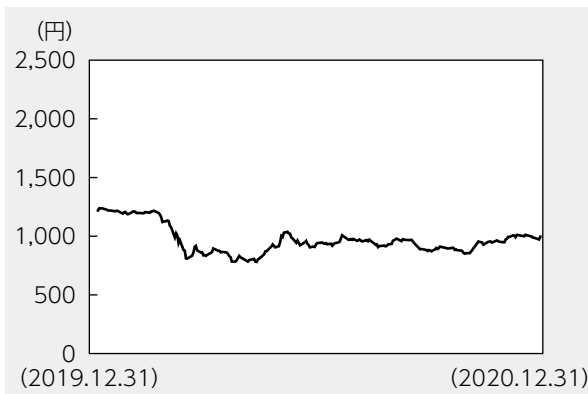
項目	第142期末	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末
	2021年11月5日	2021年12月6日	2022年1月5日	2022年2月7日	2022年3月7日	2022年4月5日
純資産総額	3,921,578,128円	3,717,090,762円	3,751,796,967円	3,496,194,272円	3,183,122,606円	3,798,838,803円
受益権総口数	37,040,574,121口	36,738,476,597口	36,231,590,474口	33,049,330,692口	32,342,769,176口	31,597,337,892口
1万口当たり基準価額	1,059円	1,012円	1,036円	1,058円	984円	1,202円

(注) 当作成期間 (第142期～第147期) 中における追加設定元本額は1,098,253,280円、同解約元本額は7,124,737,400円です。

## 組入ファンドの概要

[ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (B R L)] (計算期間 2020年1月1日~2020年12月31日)

### ◆基準価額の推移



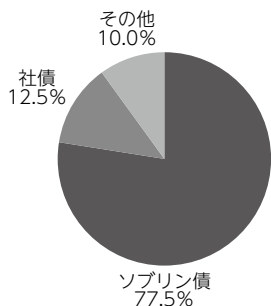
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
RUSSIA-EUROBOND 5.63% 04/04/42	アメリカ・ドル	7.0%
UNITED MEXICAN 4.60% 01/23/46	アメリカ・ドル	5.9
TURKEY REP OF 4.25% 04/14/26	アメリカ・ドル	5.0
INDONESIA (REP) 6.63% 02/17/37 REGS	アメリカ・ドル	4.3
BRAZIL REP OF 5.00% 01/27/45	アメリカ・ドル	3.8
UNITED MEXICAN 4.75% 03/08/44	アメリカ・ドル	3.5
ESKOM HOLDINGS 6.350% 08/10/28 REGS	アメリカ・ドル	3.3
INDONESIA (REP) 4.750% 07/18/47 REGS	アメリカ・ドル	3.2
TURKEY REP OF 4.88% 04/16/43	アメリカ・ドル	3.1
UKRAINE GOVT 9.750% 11/01/28 REGS	アメリカ・ドル	3.1
組入銘柄数	71銘柄	

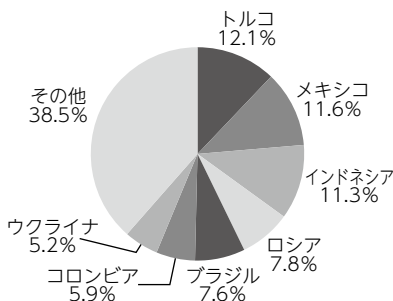
### ◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

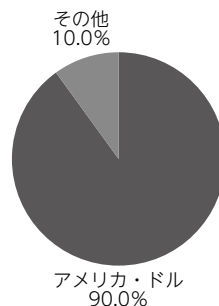
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (B R L) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したのとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ケイマン エマージング ソブリン ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。なお、組入外貨建資産については、ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (B R L) において、米ドルを売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行っています。

(注3) 比率はケイマン エマージング ソブリン ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

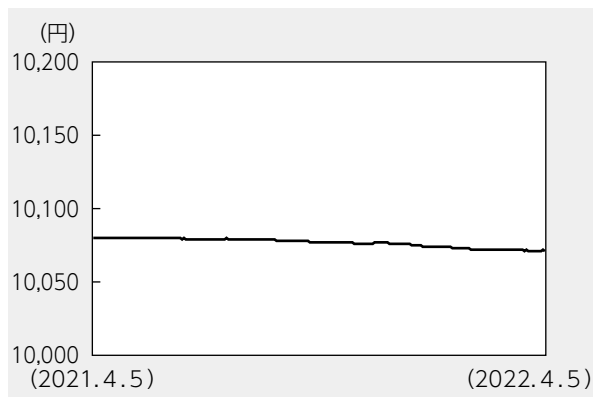
(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Bank(USA)のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版)に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2021年4月6日～2022年4月5日）

◆基準価額の推移



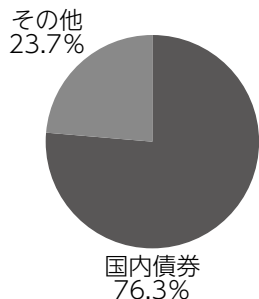
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
413回 利付国庫債券（2年）	日本・円	17.6%
418回 利付国庫債券（2年）	日本・円	16.8
416回 利付国庫債券（2年）	日本・円	16.8
415回 利付国庫債券（2年）	日本・円	16.8
419回 利付国庫債券（2年）	日本・円	8.4
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	5銘柄	

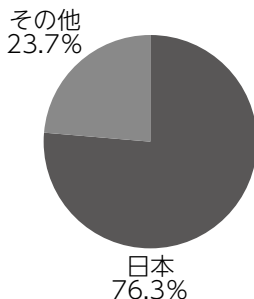
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

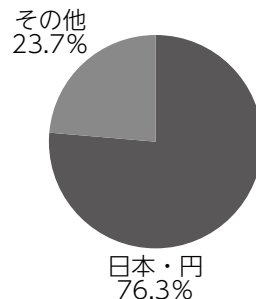
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## &lt;代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について&gt;

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

